

# PRESS RELEASE

2015年5月12日【一部参考日本語訳】

## アルカテル・ルーセント、2015年度第1四半期の決算を発表

次世代製品が大きく成長

調整後営業利益は前年同期比2倍以上に拡大

利益率とキャッシュフローが引き続き改善

- 2015年度第1四半期のマネージド・サービス部門を除き、決算対象組織を固定したグループ全体の売上高は前年同期比12%増、次世代製品は前年同期比25%と大きく成長。固定為替レートでのマネージド・サービス部門を除き、決算対象組織を固定したグループ全体の売上高は前年比2%減、次世代製品の売上高は前年同期比9%増。
- 2015年度第1四半期の売上総利益率は前年同期から230ベースポイント増の34.6%を達成。
- 2015年度第1四半期の調整後営業利益は2倍以上に拡大して8,200万ユーロ。営業利益率は前年同期から140ベースポイント改善して2.5%。
- 2015年度第1四半期のフリーキャッシュフローは前年同期から6,600万ユーロ改善して3億3,200万ユーロの赤字。

### 2015年度第1四半期と通年の主な業績指標

百万ユーロ(1株あたり利益を除く)	2015年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	前年 同期比
<b>損益計算書</b>			
売上高	3,235	2,963	9%/-4%*
売上総利益	1,119	956	163
対売上比	34.6%	32.3%	230 bps
調整後営業利益	82	33	49
対売上比	2.5%	1.1%	140 bps
純利益(損失)(グループ内シェア)	(72)	(73)	1
希薄化後1株当たり利益(ユーロ)	(0.03)	(0.03)	Nm
E/ADS(米ドル)	(0.03)	(0.04)	Nm



キャッシュフロー計算書			
事業別営業キャッシュフロー	(152)	(59)	(93)
フリーキャッシュフロー	(332)	(398)	66
事業再編費用を除くフリーキャッシュフロー	(220)	(288)	68
The Shift Plan の主要指標			
コア・ネットワーキング事業の売上高	1,450	1,352	7%/-3%*
コア・ネットワーキング事業の営業利益	41	96	(55)
対売上比	2.8%	7.1%	-430 bps
アクセス事業による営業キャッシュフロー	(58)	(61)	3
グループ全体の固定費削減額	668		

\*実為替レート

**【2015年5月7日、パリ発】**アルカテル・ルーセント(CEO: ミシェル・コンブ(Michel Combes))は、2015年度第1四半期の決算を発表し、次世代製品の売上げが順調に拡大し、また北米地域での支出が鈍化傾向にあるにもかかわらず、利益率とフリーキャッシュフローが引き続き改善していることを示しました。

この業績について、アルカテル・ルーセントのミシェル・コンブ CEO は次のように述べています。「2015年度第1四半期の業績は次世代製品の好調な売上拡大だけでなく、アルカテル・ルーセントの方向性を立て直し、より大きな回復力を持つ組織を構築するための弛まぬ努力を反映したものとなりました。この進展は利益率とキャッシュフローが引き続き改善していることに示されています。The Shift Plan の遂行を現在将来とも最優先に進めており、このことは2015年中にフリーキャッシュフローを黒字化するという約束によってさらに裏付けられています。これらの成果を通じ、ノキアとの合併準備を進めるアルカテル・ルーセントにはその目標を完遂するための道が開かれます。」

## 2015年度第1四半期のハイライト

- マネージド・サービス部門を除くグループ全体の売上高は、25%の成長を達成した次世代製品の好調な伸びを反映して前年同期比 12%増となりました。実為替レートでのマネージド・サービス部門を除くグループ全体の売上高は前年同期比 2%減、次世代製品の売上高は 9%増でした。
- 売上総利益率は 34.6%に達し、特に複数の営業科目での利益改善と、アクセス事業部門でのソフトウェア売上比率が通常よりも高かったことにより、前年同期から 230 ベーシスポイント拡大しました。
- 固定費削減によって得られた金額は、基本的には IP ルーティングと IP トラnsポートを中心とする多角化戦略をさらに加速するため、新たなマーケティングと研究開発活動にすべて再投資されました。The Shift Plan の 2015 年の目標額である 9 億 5,000 万ユーロが改めて確認されました。
- 営業経費は実為替レートでは前年同期比 12%増、固定為替レートではほぼ横ばいとなり、節約額はすべてマーケティングと研究開発活動に再投資されました。
- 調整後営業利益は売上高の 2.5%に相当する 8,200 万ユーロで、これに対し前年同期は売上高の 1.1%に相当する 3,300 万ユーロでした。コア・ネットワーキング事業部門の営業利益は売上高の 2.8%に相当する 4,100 万ユーロで、これに対し前年同期は売上高の 7.1%に相当する 9,600 万ユーロでしたが、この低下は主に将来の成長を促進するための再投資、北米地域と日本での支出が一時的に鈍化していること、および製品ミックスの変化によるものでした。アクセス事業の営業利益は売上高の 3.8%に相当する 6,700 万ユーロで、これに対し前年同期は売上高のマイナス 2.4%に相当する 3,700 万ユーロの赤字でしたが、この改善には固定アクセス事業が引き続き好調だったこと、およびワイヤレス部門とマネージド・サービス部門の進展が貢献しました。

- 先に発表したとおり、グループは第 1 四半期に 7,200 万ユーロの純損失(連結)を計上し、1 株当たりでは 0.03 ユーロの損失でした。これに対し前年同期は 7,300 万ユーロの損失でした。営業利益が改善し、一部のキャピタルゲインを反映して財務費用が減少しましたが、前年同期の米国での繰延税資産が発動したことに伴う法人税費用の増加により相殺されました。
- 第 1 四半期のフリーキャッシュフローは 3 億 3,200 万ユーロの赤字で、前年同期から 6,600 万ユーロ改善しましたが、この改善は主に営業キャッシュフローが増加し、営業以外のキャッシュフローに生じた変動が互いに相殺しあったためでした。
- 2015 年 3 月 31 日現在のグループ全体の純現金残高は 2 億 6,200 万ユーロで、これに対し 2014 年 12 月 31 日現在は 3 億 2,600 万ユーロでした。
- 2015 年 3 月 31 日現在のグループ全体の年金および OPEB(年金以外の退職後給付)へのエクスポージャーは 16 億 4,500 万ユーロの不足で、これに対し 2014 年 12 月 31 日現在は 13 億 5,000 万ユーロの不足でした。この変化は主に、年金およびその他の退職後給付の計算に使用した割引率が引き下げられたことによります。米国での必要資金額の基準となる ERISA 法の観点からは、米国での年金資金には余剰が存在し、アルカテル・ルーセントは予測できる範囲の将来に追加拠出を行うことは予想していません。

### 2015 年 3 月 31 日以降のできごと

- 2015 年 4 月 15 日、ノキアとアルカテル・ルーセントは合併を通じ、IP によって互いに結び付けられた世界のため、次世代技術とサービスのイノベーション・リーダーを構築する意図を発表しました。両社はノキアの新規発行株 0.55 株をアルカテル・ルーセントの 1 株と交換する、フランスと米国での証券交換による株式公開買い付けを通じ、ノキアがアルカテル・ルーセントの発行済み株式のすべてを取得することを定めた覚書を締結しました。
- 両社の取締役会はそれぞれ、2016 年上半期中の完了が予定されたこの買収案の内容を承認しました。この買収にはノキア株主による承認、該当する労使協議会との協議完了、許認可の取得、およびその他一般的な条件が満たされることが前提となります。
- この合併の詳細については [www.newconnectivity.com](http://www.newconnectivity.com) をご覧ください。

### 注記

アルカテル・ルーセントの取締役会は 2015 年 5 月 5 日に会合を持ち、2015 年 3 月 31 日現在のグループ未監査、暫定、要約版の連結決算書を精査し、その公表を承認しました。

この暫定、要約版の連結決算書は未監査です。この連結決算書は以下に掲載されています。

<http://www.alcatel-lucent.com/investors/financial-results/Q1-2015>

「営業損益」とは、事業再編関連費用、訴訟関連費用、資産減損、連結法人売却に伴う損益、退職後給付制度改定に伴う損益を計上する前の、営業活動による損益を指します。

「調整後」とは、ルーセント事業統合に伴う PPA(取得原価配分)の主たる影響が除かれていることを指します。

「事業別営業キャッシュフロー」とは、為替レートを固定した場合の調整後営業損益と営業運転資本を加えたものです。

「営業キャッシュフロー」とは、運転資金の変化を反映し、支払利息/税、事業再編に伴う支出、および年金と OPEB に伴う支払を除外したキャッシュフローです。

## 2015 年の予定

2015 年 5 月 26 日: 年次株主総会

2015 年 6 月 30 日: 2015 年度第 2 四半期決算発表予定

### <アルカテル・ルーセントについて>

アルカテル・ルーセント(Alcatel-Lucent)はグローバル通信の分野をリードする企業であり、IP およびクラウド・ネットワーキングの製品や革新的なソリューションを提供しています。また、サービスプロバイダとそのお客様、世界中の各種法人及び政府機関に対し、超高速ブロードバンドの無線/固定アクセスを提供しています。

アルカテル・ルーセントは、音声電話技術からデータ、ビデオ、情報の高速デジタル・デリバリーへ移行しつつある業界を牽引しています。これを支えるのはベル研究所です。ベル研究所はアルカテル・ルーセントが擁する研究所で、世界最先端の研究開発機関の一つであり、数えきれないほど多くの技術革新によりネットワーキングと通信業界の形成を担ってきました。

アルカテル・ルーセントはフランスのパリに本社を構える法人で、2014 年の売上高は 132 億ユーロ。ユーロネクスト・パリ、ニューヨーク証券取引所に上場しています。

URL: <http://www.alcatel-lucent.com> / ブログ: <http://www.alcatel-lucent.com/blog/>

ツイッター: [http://twitter.com/Alcatel\\_Lucent](http://twitter.com/Alcatel_Lucent)

### <日本アルカテル・ルーセント株式会社について>

日本アルカテル・ルーセント株式会社は、次世代のネットワーク・サービスを中心とした固定/無線アクセス、IP、光伝送、アプリケーション、エンタープライズの事業分野で関連機器及びプロフェッショナルサービス、インテグレーション、保守を提供し、国内大手通信事業者をはじめ、各種法人、政府機関など幅広いお客様をサポートしています。

所在地: 〒141-6006 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 6F / 代表取締役社長: ニコラ・ブーベロ(Nicolas Bouverot) / 資本金: 4 億円 / URL(日本サイト): <http://www.alcatel-lucent.co.jp>

.....  
本件に関するお問い合わせ先:

日本アルカテル・ルーセント株式会社

コミュニケーション部 クルザーチエ・キャロリーヌ

TEL: 03-6431-7000 FAX: 03-6431-7024

E-mail: [jpmarcom@alcatel-lucent.com](mailto:jpmarcom@alcatel-lucent.com)  
.....